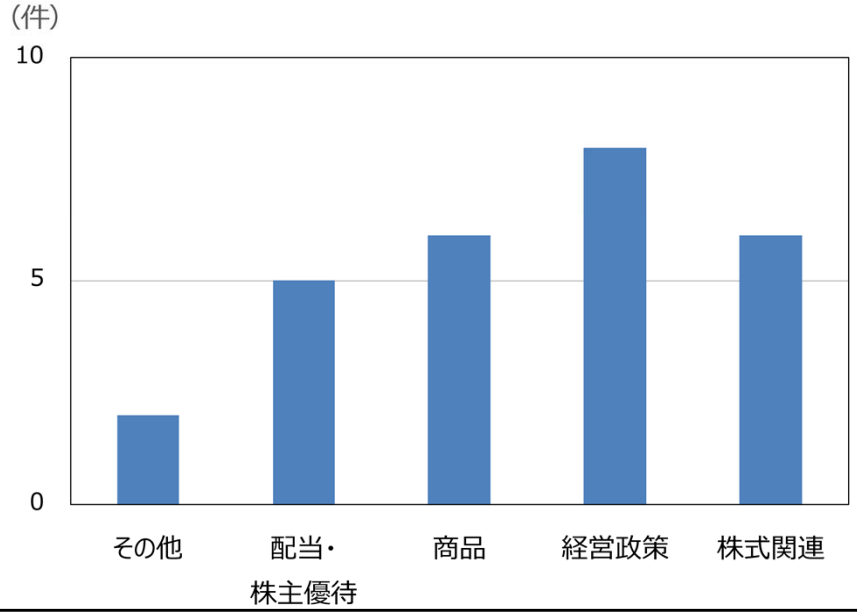
事前のご質問に対するご説明およびご回答

❖ ご質問およびご意見の内訳



事前質問の件数および内容について
ご説明いたします。
事前にお寄せいただいたご質問・ご意見は、
合計２７件でした。

内容別に分けたのが、こちらのグラフです。
関心の高いご質問から２件取り上げて
ご回答、ご説明いたします。

事前のご質問に対するご説明およびご回答

❖ 株式関連

Q：株を何年も所有しているが、株価が動かない。
　　現在の株価をどう考えているか？
　　株価対策についての考えを聞かせてほしい。

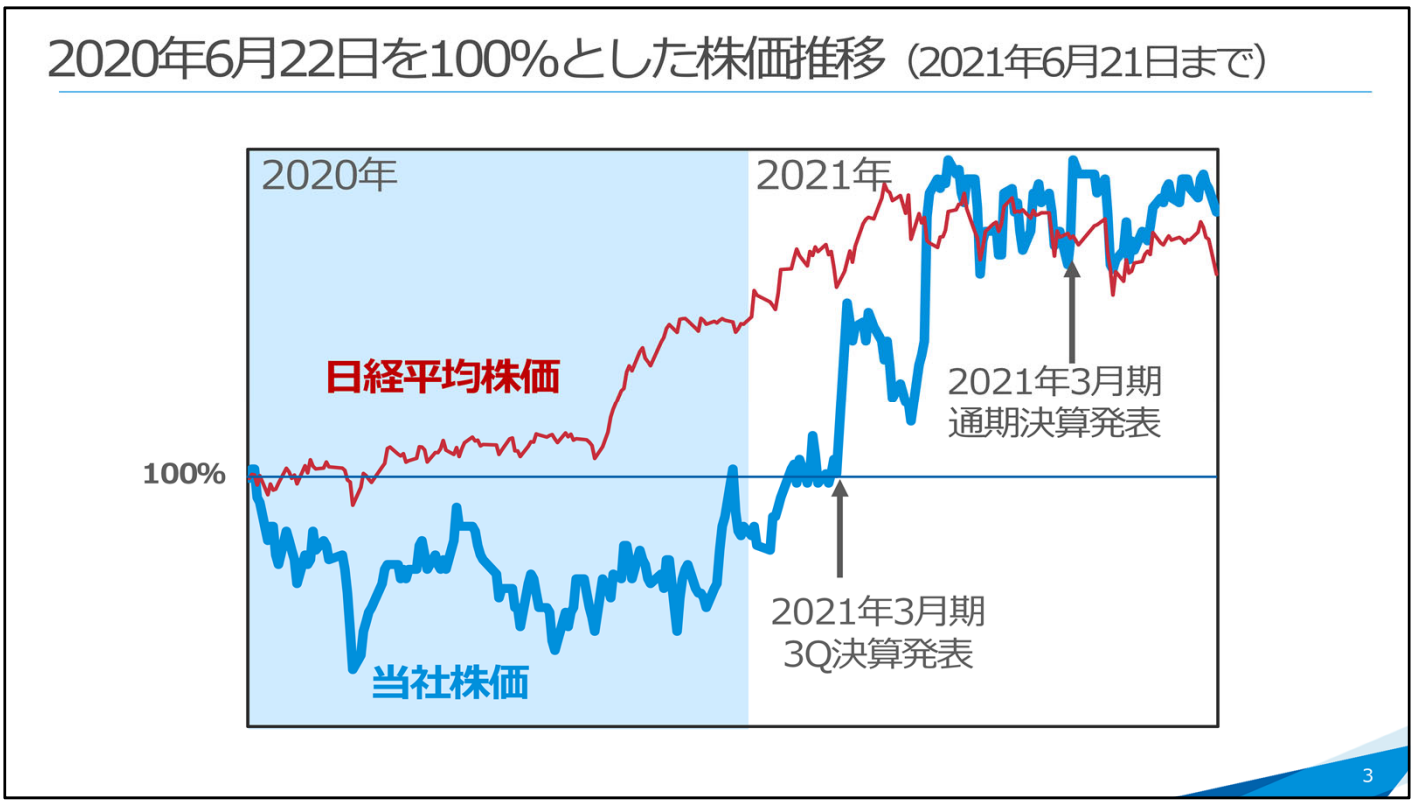
まずは「株式関連」から、

株を何年も所有しているが、
株価が動かない。

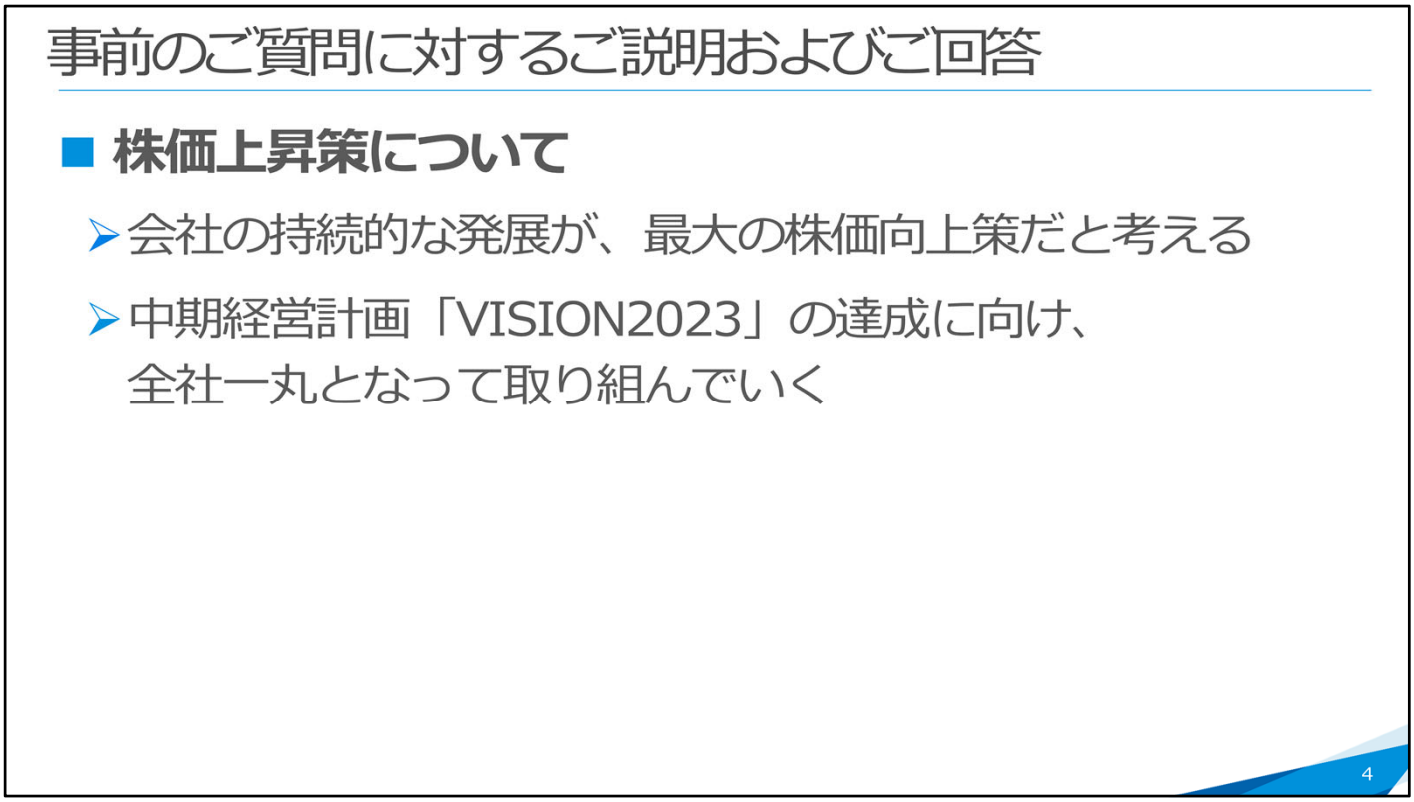
現在の株価をどう考えているか？

株価対策についての考えを
聞かせてほしい。

というご質問について、
ご回答いたします。

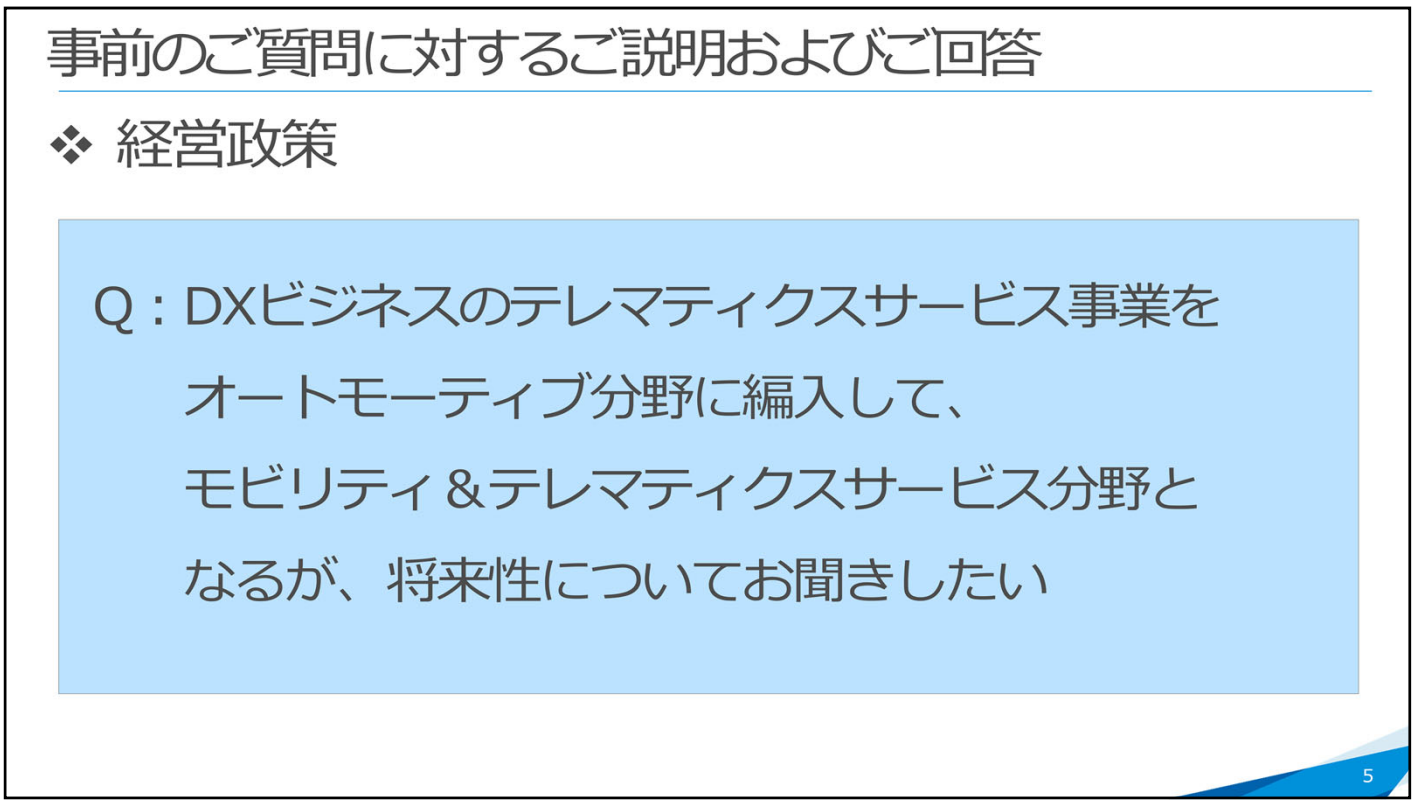


こちらは１年前の株価を100%とした
株価指標の推移です。
青色の線が当社、
赤色の線が日経平均の推移です
当社株価は、2021年３月期第３四半期決算
発表まで日経平均を下回る動きでしたが、
2021年３月期通期決算発表以降は、
日経平均と同等、もしくは上回って
推移しています。



当社は、会社の持続的な発展が、
最大の株価向上策だと考えます。
激変する事業環境下において、
５月に策定しました
中期経営計画「VISION2023」の
基本戦略である
「変革」と「成長」を両輪として、
競争力の向上、企業価値向上に向けて
取り組んでまいります。

よろしくお願い申しあげます。

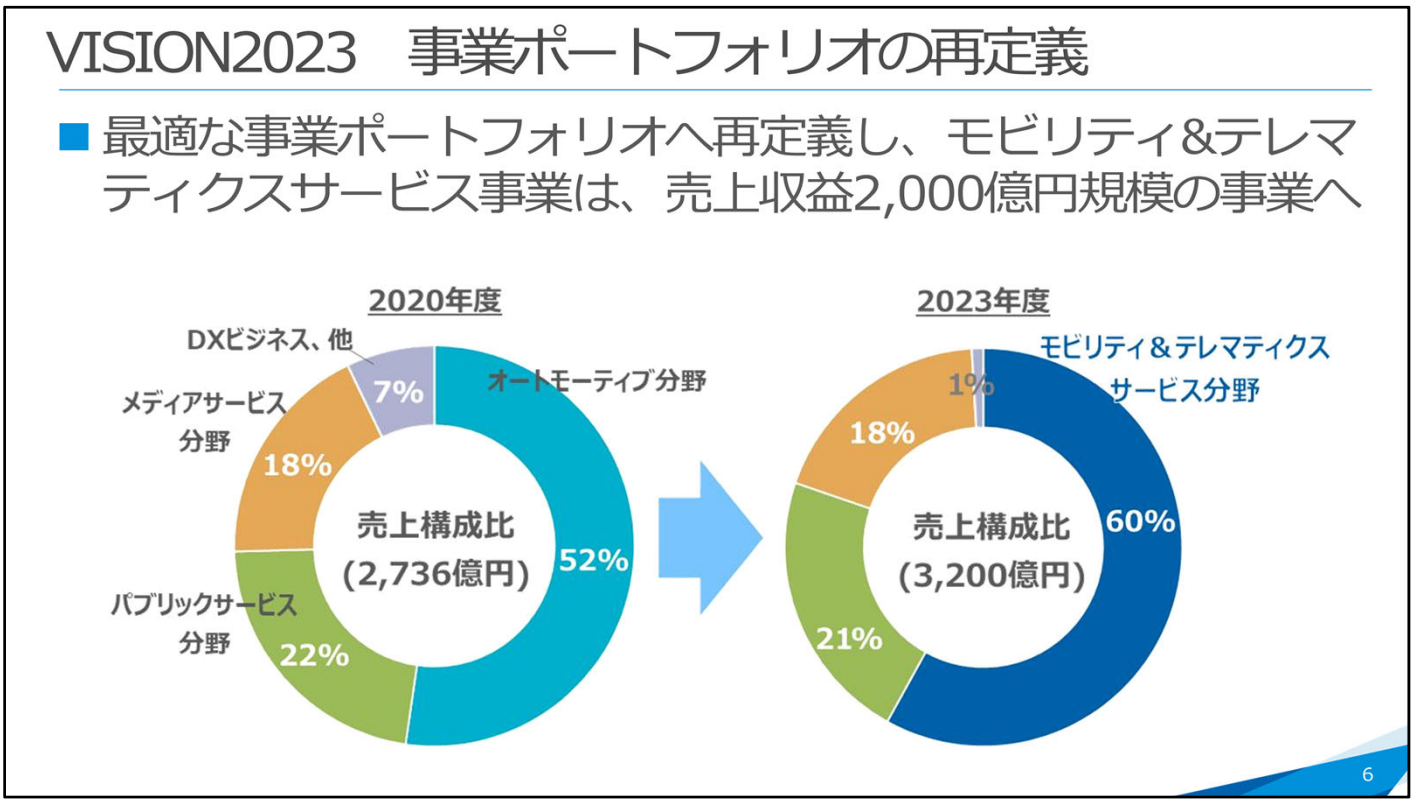


続きまして「経営政策」から、

DXビジネスのテレマティクスサービス事業を
オートモーティブ分野に編入して、
モビリティ＆テレマティクスサービス分野と
なるが、将来性についてお聞きしたい

というご質問について、

ご回答いたします。

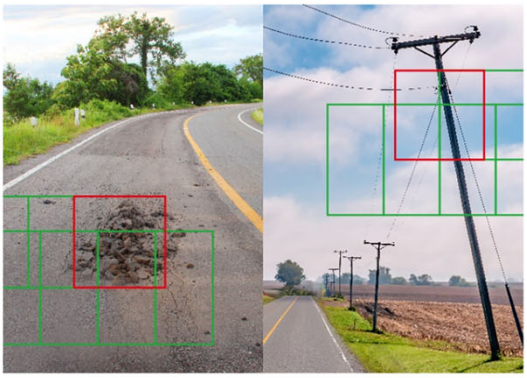


当社は、事業ポートフォリオの
再定義を踏まえて、7月1日付けで、
成長の見込めるDXビジネスの
テレマティクスサービス事業を
オートモーティブ分野へ編入し、
モビリティ＆テレマティクスサービス分野
として組織を再編します。
この分野は、全社売上収益に対し
構成比を中期で60%まで引き上げ、
2,000億円規模の売上収益を
目指していきます。

こちらは中期計画における、
テレマティクスサービス事業の
成長シナリオです。
当社は、フェーズ１で
ドライブレコーダー市場での
トップポジションを獲得いたしました。
フェーズ２では、
高機能の通信型ドライブレコーダーで、
損害保険会社向けに
累計100万台規模のビジネスを構築中です。

事業例（Phase3）:IoTプラットフォームサービス事業

■ **道路診断サービス**
道路・電柱の劣化状態を診断・解析し、道路の路線管理や補修計画を支援するサービスを提供



■ **運転支援サービス**
ドライバーの感情や体調を分析し、最適な運転支援サービスを提供

8

フェーズ３では、
高機能ドライブレコーダーサービス事業
と融合した、
IoTプラットフォームサービス事業として、
道路診断サービスや、運転支援サービスの
提供などを図っていきます。
そして将来の成長分野として、
モビリティ＆テレマティクスサービス領域
のリーディングカンパニーとして、
企業価値の向上を目指してまいります。